

# ●●● 2021年10月～12月期 栃木県中小企業景況調査(170回) ●●●

## 【栃木県DI指数天気図】

### 今期(県内全体)の業況



**DI値**  
**-26.0**  
※全国 -23.3

## 業況

県内全体の業況(DI値)は、前期(7-9月期)より8.1ポイント改善の-26.0ポイントとなった。建設業においては前期から23.3ポイントの大幅な悪化となったが、製造業、小売業、サービス業の3業種は改善となった。特に小売業は前期の大幅な悪化から回復に転じ、サービス業においては3期連続の回復となった。

来期は、製造業、小売業、サービス業で改善が続き、製造業では大幅改善が見込まれる。建設業は今期よりさらに悪化に転じる見込みであるものの、県内全体の業況としては5.6ポイントの回復となる見込みである。

全国と比較すると今期は2.7ポイント低いものの、来期も小幅ながらも改善が続く見込みである。

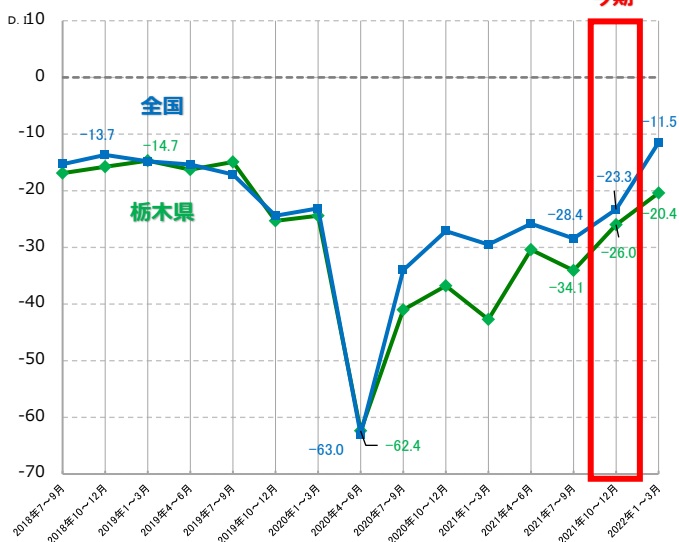
### ～天気図の指標～

現状	良い	やや良い	やや悪い	悪い	とても悪い
天気図					
DI値	15.1～	15～0.1	0～-15	-15.1～-40	-40.1～

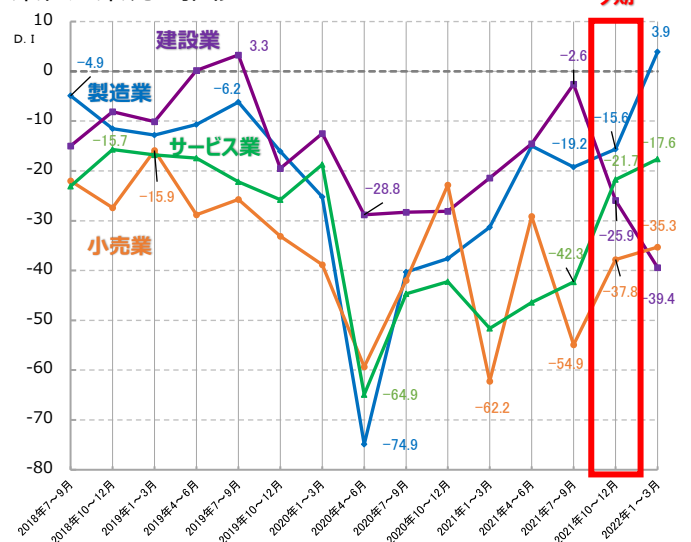
業種	項目	今期(全体)	売上額	仕入単価※	採算	資金繰り	来期予想(全体)
製造業							
	DI値	-15.6	0.0	71.4	-16.7	-10.0	3.9
業況：前期から3.6ポイント改善、来期は+19.5ポイント大幅改善の見込み							
建設業							
	DI値	-25.9	-25.0	80.0	-40.0	-20.0	-39.4
業況：前期から-23.3ポイント悪化、来期は-13.5ポイント悪化の見込みで不安定な状態続く							
小売業							
	DI値	-37.8	-47.5	40.0	-52.5	-37.5	-35.3
業況：前期から+17.1ポイント改善、来期も+2.5ポイント改善の見込み							
サービス業							
	DI値	-21.7	-31.7	-25.0	-31.6	-25.0	-17.6
業況：前期から+20.6ポイント大幅改善、来期は+4.1ポイント改善の見込み							

※仕入単価はプラスになるほど悪化となります

### 全国と栃木県の業況の推移

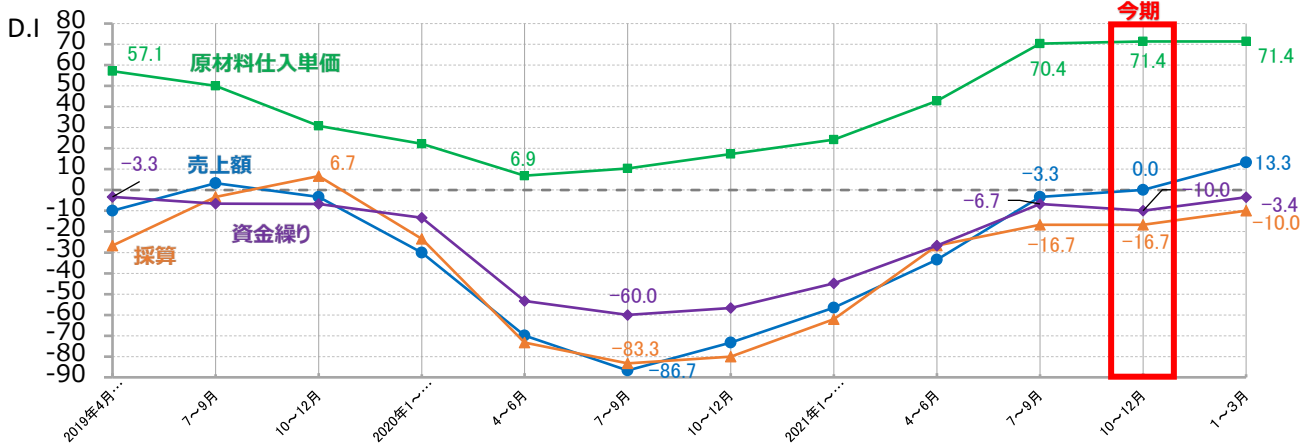


### 業種別業況の推移



製造業

「原材料仕入単価の高止まり続くも、来期は売上額等で改善の見込み」



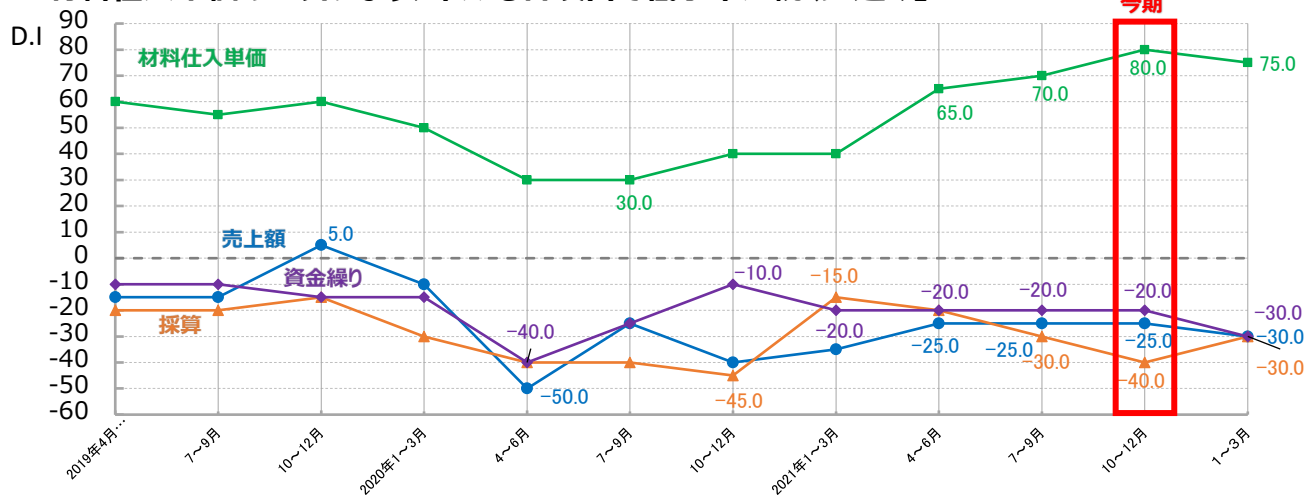
「原材料仕入単価」は大幅に上昇した前期から横ばいとなり高止まりが続いている。来期においても横ばいとなる見込みであり、厳しい状況が続く。

「売上額」は3.3ポイント(-3.3→0.0)と小幅ながら改善傾向が続くが、「採算」は横ばい、「資金繰り」は-3.3ポイント(-6.7→-10.0)の悪化となった。来期は、2020年10-12月期から回復傾向が続く「売上額」は13.3ポイント(0.0→13.3)と大幅改善し、「採算」は6.7ポイント(-16.7→-10.0)、「資金繰り」は6.6ポイント(-10.0→-3.4)と小幅ながらも改善が見込まれる。

- 【経営上の問題点】 第1位： 需要の停滞 (28.0%)      第2位： 原材料価格の上昇 (14.7%)  
 第3位： 生産設備の不足・老朽化 (13.3%)      第4位： 製品(加工)単価の低下・上昇難 (12.0%)

建設業

「材料仕入単価の上昇により、来期も各項目で低水準が続く見込み」



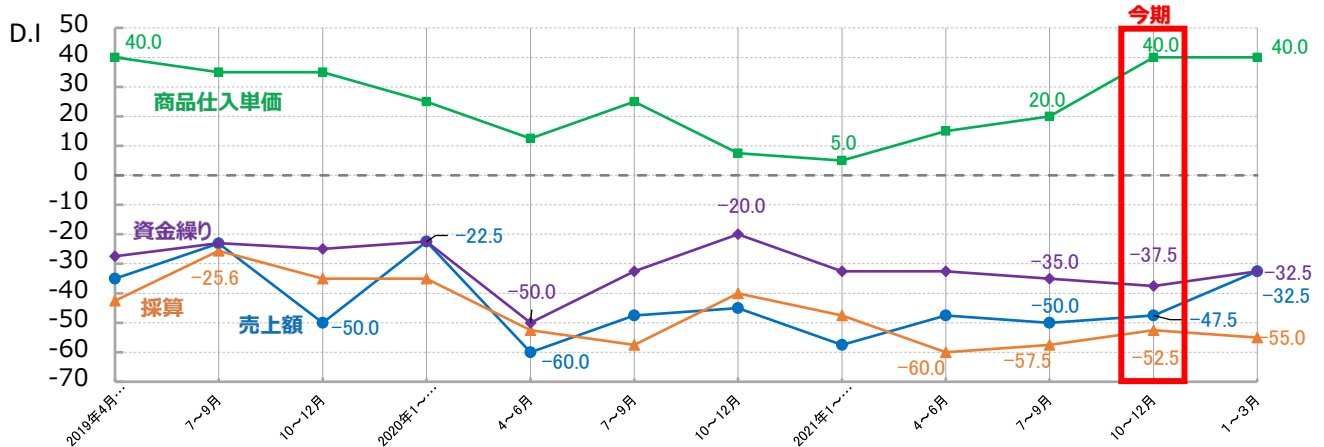
「材料仕入単価」は10.0ポイント (70.0→80.0) と上昇したが、来期は-5.0ポイント (80.0→75.0) と6期ぶりに下落する見込みである。「材料仕入単価」に合わせて「採算」は-10.0ポイント (-30.0→-40.0) と前期に続き同幅悪化となった。「経営上の問題点」でも1位にあげられている。

「完成工事額(売上額)」は4-6月期より3期連続の横ばい、「資金繰り」も1-3月期より4期連続の横ばいとなり、停滞状態が続いている。来期は「完成工事額(売上額)」は-5.0ポイント(-25.0→-30.0)悪化、「資金繰り」は-10.0ポイント(-20.0→-30.0)と大幅な悪化となるが、4-6月期より悪化が続いていた「採算」は10.0ポイント (-40.0→-30.0) と4期ぶりに回復する見込みである。

- 【経営上の問題点】 第1位： 材料価格の上昇 (23.5%)      第2位： 従業員の確保難(23.5%)  
 第3位： 熟練技術者の確保難 (11.8%)      第4位： 民間需要の停滞 (11.8%)

## 小売業

「売上額、採算で小幅改善、来期の売上額は大幅回復する見込み」



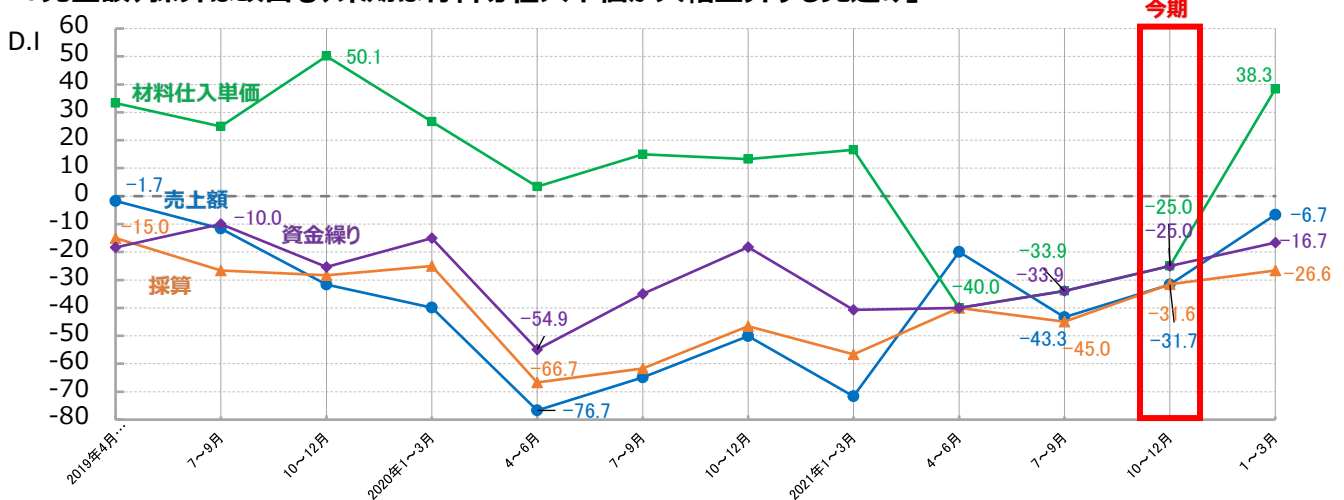
小売業においても「商品仕入単価」は20.0ポイント(20.0→40.0)と大幅上昇し、来期も横ばいとなり高止まりとなる見込みである。

「売上額」は2.5ポイント (-50.0→-47.5)、「採算」は5.0ポイント (-57.5→-52.5) と小幅ながら改善したものの、「資金繰り」は-2.5ポイント (-35.0→-37.5) の悪化となった。来期は「売上額」が15.0ポイント (-47.5→-32.5) と大幅に回復し、「資金繰り」が5.0ポイント (-37.5→-32.5) と改善する見込みであるが、前期から小幅ながらも回復が続いていた「採算」は、-2.5ポイント (-52.5→-55.0) の悪化が見込まれる。

【経営上の問題点】 第1位：需要の停滞 (23.7%) 第2位：消費者ニーズの変化への対応(16.9%)  
第3位：仕入単価の上昇 (15.3%) 第4位：購買力の他地域への流出 (13.6%)

## サービス業

「売上額、採算は改善も、来期は材料等仕入単価が大幅上昇する見込み」



「売上額」は前期 (7-9月期) の大幅悪化から11.6ポイント (-43.3→-31.7)の回復、「採算」も13.4ポイント(-45.0→-31.6) 回復し、「資金繰り」も8.9ポイント (-33.9→-25.0) と4-6月期から回復傾向にある。来期も回復が続き、「売上額」は25.0ポイント(-31.7→-6.7) と大幅に回復、「採算」は5.0ポイント (-31.6→-26.6)、「資金繰り」は8.3ポイント (-25.0→-16.7) 回復する見込みである。

「材料等仕入単価」は8.9ポイント (-33.9→-25.0) 上昇したものの低水準を維持したが、来期は63.3ポイント (-25.0→38.3) と今年度で最も大幅な上昇となり、1-3月期を上回る見込みである。

【経営上の問題点】 第1位：利用者ニーズの変化への対応 (22.0%) 第2位：需要の停滞 (18.7%)  
第3位：材料等仕入単価の上昇 (17.6%) 第4位：人件費以外の経費の増加 (6.6%)

## 調査要領

### ○調査の目的

中小企業景況調査は、全国の商工会地区に地域経済観測点を設置し、地域の産業の状況や経済動向等について、一定時期ごとに変化の実態諸情報を迅速かつ的確に収集・提供して、経営改善普及事業の効果的实施に資するものとする。本報告書は、栃木県内商工会地区における、「製造業」「建設業」「小売業」「サービス業」の4業種を、主要景況項目(売上額・原材料仕入単価・採算・資金繰り)から分析し、景況情報をまとめたものである。

### ○調査対象地区（栃木県商工会地区）

栗野・足尾町・茂木町・石橋・桑絹  
大平町・岩舟町・高根沢町・那須烏山・足利市坂西

### ○調査時点

2021年11月15日

### ○調査対象期間

2021年10月～12月期の実績及び、2022年1月～3月期の見通しについて調査

### ○調査方法

商工会の経営指導員による訪問調査

### ○回答企業数内訳

業種	回答企業数	構成比(%)
製造業	30	20.0%
建設業	20	13.3%
小売業	40	26.7%
サービス業	60	40.0%
合計	150	100.0%

### ※D I 指数とは

報告書に登場するD I 値とは、デフュージョン・インデックス(Diffusion Index = 景気動向指数)の略であり、各調査項目についての増加(上昇・好転)企業割合から減少(低下・悪化)企業割合を差し引いた値を示すものである。

D I 値がプラスのときは業況の好転、マイナスのときは業況の悪化を示すことから、景気の動向を判断する指数として利用される。また、D I 値は強気・弱気など、景況感の相対的な広がりを示すものであり、売上額などの実数値の上昇率とは異なる。

たとえば、今期の売上額を前年同期と比較した結果、増加企業が50%、不変企業が30%、減少企業が20%となったとすると、D I 値は $50 - 20 = 30$ となり、売上額に対して強気の度合いを示している。



編集：栃木県商工会連合会 経営の見える課

発行所：栃木県商工会連合会 栃木県宇都宮市中央3丁目1番4号

次の100年も  
ここに商工会

TEL 028-637-3731・FAX 028-637-2875